

各国大使、県に支援金品

日系農家原料の 豆腐5万丁贈る

パラグアイ

駐日パラグアイ大使の豊歳直之氏は十四日、県庁に佐藤雄平知事を訪問し、同国の日系農家が生産した大豆で作った豆腐三十二丁と五万丁分の目録を贈った。

パラグアイの日本人移住者が栽培した大豆百丁を岐阜県の企業などが豆腐に加工して被災地に届けている。

豊歳氏は「これまで日本から支援を受けてきた。被災地の皆さんに食べてもらいたい」と述べた。

同国の募金担当責任者でパラグアイ日本人

佐藤知事にパラグアイ産の大豆で作った豆腐を贈る豊歳大使（左）



会連合会の小田俊春会長、大豆募集責任者でイグアス市日本人会連

合会の福井一朗会長、日本の豆腐支援事業事務局でギアリンクス（岐阜県）の中田智洋社長、県内の豆腐事業協力者で八幡屋の渡辺忠栄社長と一緒に訪れた。

福島民報

2011年6月15日(水)